



りとせ相模大野保育園

子育て支援広場 子育て情報 令和8年1月号



謹んで新春のお喜びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月には遠足で電車やバスの公共交通機関を使いルールやマナーを学ぶことができました。また、クリスマス会では、サンタさんの姿に大喜びする子、怖がって泣く子など様々でしたが、プレゼントもいただいて可愛い笑顔を沢山見せてくれました。

りとせ相模大野保育園では、子育て支援や交流を行いながら、地域の子育て世代の親子と園児が楽しく過ごす機会を提供しています。毎月第三火曜日には司書による読み聞かせを行っています。園児たちと一緒に色々な絵本の世界をのぞいてみませんか。ご利用をお待ちしています。

※読み聞かせのご予約は園にお問い合わせください。



1歳前後の子どもたちは・・・

【子どもたちの食具について】

・子どもの食事には、成長に合わせた“食具（スプーン・フォーク・箸など）”の選び方や使い方のステップがとても大切です。食具はただ食べるための道具ではなく、手指の発達・姿勢の安定・自分で食べようとする意欲を育てる大切な手掛かりになります。ここでは、年齢ごとのポイントや、選ぶ際に気を付けたい点をご紹介します。

☆スプーンを使い始める時期☆

（およそ9～12か月頃）

この頃は“自分で食べたい”という意欲が芽生え始めます。まず大人が介助しながら、子どもがスプーンを握って口に運ぶ経験を重ねることが大切です。柄が短く太めで、握りやすいスプーンを選ぶと成功体験に繋がります。また、最初から上手にすくえなくても問題ありません。こぼれながらも、自分で口に運ぶことを温かく見守りましょう。

※続きはまた来月号に記載いたします。

子どもには個性があり、物と関わるのが好きな子、人と関わるのが好きな子など様々です。親と遊んで欲しがる時間が長い子は、コミュニケーション能力が高くなり、物を探究する時間が長い子は、探求や操作の能力が高くなるともいわれています。

人と関わるのが好きな子には、ごっこ遊びを楽しめる玩具を、物の探求が好きな子には積み木などの玩具を選ぶなど、1歳頃に見えてくる子どもの個性に合わせて玩具を選んでみることもお勧めします。

この時期の子どもたちは、体全体と手、口を使って人や物と関わります。その中で全身から脳へ刺激を送って脳のシステムを作っているのだそうです。つまり、子どもたちは動き回って人や物と関わることで新しい能力を獲得しているのです。環境と関わる時間が多いと人間関係や運動、手指の操作などの能力が高まります。また、その逆も然りです。テレビやタブレットなどを使った視覚刺激が多い受け身の時間が長くなると、探索の時間が減ることになります。

同じものを食べてもアレルギーになる子、ならない子がいるように視覚刺激の影響も子どもによって異なると考えられています。子どもが喜ぶものが必ず発達にとって良いとは限りません。生後の環境により脳の機能は発達するため、視覚の部位だけを発達させるといった偏った経験は避けたいですね。



育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか？りとせ相模大野保育園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。お待ちしております。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-14-2 4階 TEL 042-705-5311